

## 総務常任委員会行政視察

提出者 吉田 つとむ

令和元年5月15日（水）～令和元年5月17日（金）

松江市分 令和元年5月16日（木）

松江市ものづくりアクションプラン 2018

### <概要>

松江産業支援センターを視察（ただし、内容は下段の通り）しました。

独立の機関になっており、職員15名の規模でした。その中には、一般職員以外に製造業支援を目的にした、企業OB3名が専門員として配置されています。

このセンターの特徴は、職員による業者訪問の回数が多く、年間、延べ1000社の実績を示していました。

そのために、平成24年度に策定された以降、引き続き実施されている「松江市ものづくりアクションプラン2018」の中心的役務をなすものです。



施設は訪れず、市議会の委員会室において、担当の方から説明をいただき、その後、質疑応答の視察となりました。

### <所感>

町田市の新産業創造センターと大きな相違は、町田市のものが、インキュベーター施設にあるのに対し、この松江産業支援センターの役割は、既存企業への支援にあると思いました。それも、企業の実地指導が主体で業者の来訪を基本にするのではなく、職員が営業的な訪問活動を行っている点にあると言えます。地方にあっては、企業の情報収集に余裕がなく、それを行政の産業経済部が人員を充てて、それに当たっていると言えます。

各企業の事業活動を自治体が幅広く知り得ていると言えます。様々の支援制

度が各企業に熟知されており、その改善点もより行政が把握しやくすくなっていると思いました。

企業OB3名が専門員は、農機具メーカー、食料品等卸売会社、電子機器等メーカーとされています。記述の違いから、農機具メーカーOBとあるのは、おそらく地元には本社・工場がある全国大手農機具メーカーと思われます。関連分野、すそ野が広い産業と解釈しました。

\*いただいた配布資料の中に、「堀川藻刈り丸」という製品紹介のチラシがありました。メーカーは、菱農エンジニアリング株式会社と記載されています。

委員の質疑応答を通じて、その「堀川藻刈り丸」の使用場所が競艇場だとの説明がありました。競艇場は地方自治体が協同して組合事業として、競艇開催を行っています。町田市は江戸川競艇の開催に参画しています。私は、その組合議会議員になったことはありませんが、機会があれば、そうした機械の使用があるものかどうかを尋ねたいと思います。

ビジネスマッチング商談・展示会が開催されていました。町田市では考えられないもので、地方の県都ならではことかと思いました。\*もともと、町田市もこの種の展示会（一般入場を含む産業祭）を町田市立総合体育館で開催していましたが、順次規模が縮小し、今はまるでスタイルが変わり、よさこいソーランの行事に関連する路上飲食店舗が大規模にイベントに変わりました。

自治体が産業育成に直接かかわっていると思いました。